

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校
学校だより

感じて動く

文責：校長 高木 修
令和5年6月27日 No.6

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

◆ 「校長講話」 ～大小っ子の心を見つめる教育週間～

「命の大切さ」や「人を思いやることの大切さ」そして、「あこがれや将来への志を持つこと」等についてじっくり考える期間である、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」。

県内すべての公立学校において、5月から7月の間で1週間を設定し、平成16年度から毎年、本週間に取り組んでいます。

本校では、6月26日（月）～7月2日（日）が本週間ということで、初日の昨日、リモートで全校朝会を開き、校長講話を行いました。今年度は、「おはよう」（さかいようすけ作・絵、いろは出版発行）という絵本の読み聞かせを行いました。



朝、桜の花びらと一緒に気持ちいい風が高校生を吹き抜けました。とっても気分がよくなった高校生は、近所のおばあちゃんに「おはようございます」とあいさつをします。このあいさつであったかな気持ちになったおばあちゃんは、ごみ拾いを始め、それを見ていたごみ収集車は、やさしい気持ちになって横断歩道の小学生を止まって通してあげ、うれしくなった小学生は…と、ハッピーのリレーが人から人へどんどんつながっていきます。



やがてそのリレーは、外国にも広がっていき、たくさんの人たちの気持ちをハッピーにします。そしてそれは、テレビのニュースになってみんなの町にも届くのです。朝からそのニュースを見てとっても元気になった高校生は、はりきって家を出て行きます。そして…、「あ おばあちゃん おはようございます！」

終わりに、こう締めくくりました。

このお話のように、あなたの「おはよう」が、周りのみんなをハッピーにするかもしれないし、もしハッピーになれたら、その気持ちは、「ありがとう」という気持ちや言葉になってどんどん広がっていきます。そしてそれは、まわりまわって必ず自分に返ってくると私はそう信じています。そんなハッピーを広げていけるような大村小学校をみんなでつくっていきましょう。

まずは「おはよう」のあいさつから。頑張ってみましょうね。

◆ ブックハート月間



6月12日（月）から「本を読んで心をあたためる月間」として「第1回ブックハート月間」の取組を行っています。この取組をきっかけとして、いろいろな本と出会い、心に栄養をたくわえてほしいと思っています。

学校の中でだけでなく、家庭読書（うちどく）もおすすめしています。

御家庭でも、子どもたちと一緒に読書に親しみ、本の世界を楽しむ時間をつくってみませんか。きっと心が満たされますよ。